NIE実践報告

1．タイトル：地域の活性化に取り組む過疎地域 －徳島県上勝町を事例として－

2．学校名

静岡県御前崎市立浜岡中学校

3．実践者名（代表者名）

河原﨑　智

4．学年

第２学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科地理的分野；69名（２クラス）

6．単元（本時の学習課題）名

過疎地域の特色を知ろう

7．目標（狙い）

過疎地域の様子を調べることによって、過疎地域が抱える問題点を理解することができる。また、徳島県上勝町における過疎問題への取り組みについて調べることによって、地域おこしについて理解することができる。

8．評価の視点

①新聞記事に基づき、上勝町を例に、地域おこしについて理解することができたか。（技能・表現）
②生活班の仲間や、級友と積極的に話し合うことができたか。（関心・意欲・態度）

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「世界と日本の人口」（全４時間）のうち、最後の1時間（学習のまとめの段階）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①御前崎市と静岡市では、どちらの方が暮らしやすいか考えてみよう（５分）
②過疎地域が抱える問題点について調べてみよう（10分）
③新聞記事を読み解こう（5分）
④新聞記事をもとに、上勝町の町おこしについて調べてみよう（20分）
⑤上勝町の町おこしについてまとめよう（５分）
⑥授業の感想を書こう（５分）

【留意点】
・新聞記事は生徒全員に配布し、各自が自分のペースで読み進められるよう配慮するとともに、必要に応じて補足をする。
・随所に話し合いの時間を設け、生徒各自がより高次の意見を見出すことができるようにする

11．児童・生徒の反応、感想・意見

普段目にすることのない現地の新聞（徳島新聞）を用いたことで、生徒は高い興味・関心を持って記事を読み進めることができたようである。また、記事の内容を読んで、上勝町の地域おこしや、地域おこしに関する地元住民の姿勢を賞賛する声が多数聞かれた。

12．成果と課題

新聞記事を教材として用いたことで、生徒は、地域おこしの実態をより具体的につかむことができたようである。
しかし、生徒によっては、独力では記事の内容を読み取れない者も見られた。新聞が専ら成人を対象としている以上、中学生を対象に記事を用いる際には、学習支援の方策をも事前に十分検討しておかなければならないであろう。